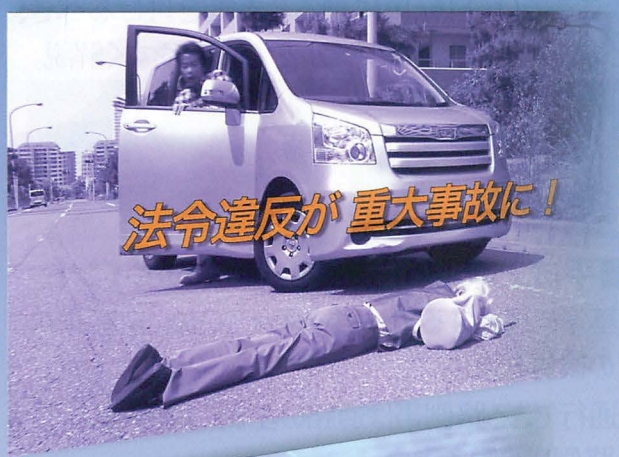
交通安全教育ビデオ／DVD／17分／高齢歩行者・自転車利用者向け

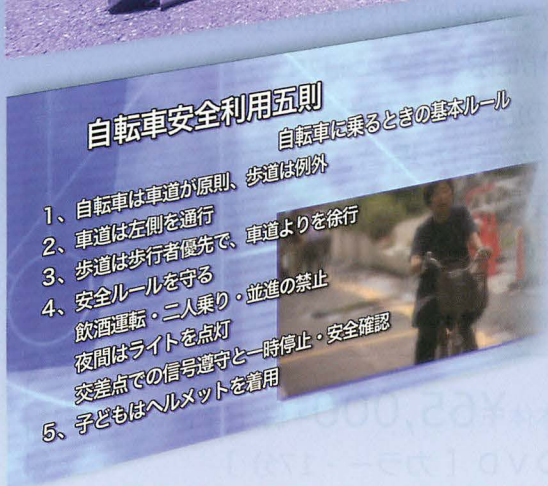
一般財団法人
全日本交通安全協会 推薦

高齢者のみなさん！
いつも安全確認していますか？

高齢歩行者・自転車利用者の交通事故を防ぐ



もう一度 見直そう 交通ルールとマナー



企画意図

交通事故による死者は、年々減る傾向にあるのに対し、死者数に占める高齢者の割合は、増加傾向を示しています。なかでも歩行中の死者数は、約7割を65歳以上の高齢者が占めており、その対策が急がれています。

高齢歩行者・高齢自転車利用者が事故に遭うケースでは、どのようなパターンがあるのでしょうか。最も多い事故事例を再現映像で分析し、事故を防ぐポイントを考えていきます。またスタントマンによる危険な事故シーン再現で、普段なにげなくとっている行動も、命を落とすような大事故につながることをアピールします。高齢者の皆さんが、歩行者・自転車利用者としての交通ルールを厳守し、マナーを再確認する必要があることを強く訴える内容となっています。

一般財団法人 全日本交通安全協会 推薦

交通安全教育ビデオ

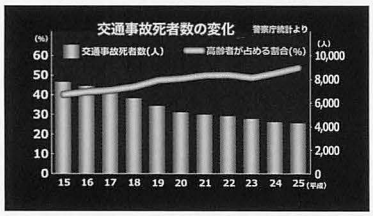
高齢歩行者
自転車利用者向け

高齢者のみなさん！いつも安全確認していますか？

高齢歩行者・
自転車利用者の交通事故を防ぐ

■増える高齢歩行者の交通事故死

交通事故の死者数は年々減少傾向にあるが、死者数に占める高齢者の割合は増加傾向。高齢者が歩行中、自転車乗用中に事故に遭ってしまう事例について詳しく検証する。



■高齢歩行者に多い法令違反とは？

- 車の直前直後の横断
- 横断歩道を渡らない
- 信号無視・斜め横断
- 横断禁止場所の横断

■夕暮れから多い高齢歩行者の事故

- 夜間の歩行には反射材を着用
- 様々な種類の反射材を紹介

黒っぽい服装と、白など明るい色の服装での見え方の違いと反射材の効果を実験。

■自転用乗用中に多い事故例

高齢者の自転車乗用中の事故は、他の年齢層に比べ、死亡率が高い。とくに多い事例は…

- 出会い頭の事故
- 駐車車両を避けて事故
- 危険な瞬間をスタントで再現

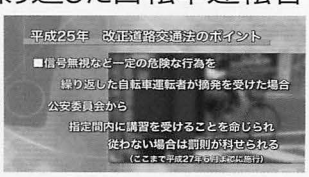
■自転車安全利用五則

自転車は誰でも使える身近な乗り物だけに交通ルールを意識せず、安易に使いがち。しかし、自転車事故の増加に伴い、交通ルール厳守が求められ、罰則も厳しくなっている。

ここでは、自転車に乗るとき気を付けるべき、とくに重要な5つのルールをわかりやすく解説。

■平成25年改正道路交通法のポイント

- 基準に適合するブレーキを備えていない自転車への検査を強化
- 通行できる路側帯は道路の左側に設けられた路側帯に限る（平成25年12月施行）
- 一定の危険な行為を繰り返した自転車運転者が摘発を受けた場合、公安委員会から講習の受講を命じられる。（平成27年6月までに施行）



企画・制作統括　髙木 裕己
脚本・演出　細見 吉夫
撮　影　中村 賢二郎／世良 隆浩
コーディネーター　斎藤 晃顕

■本体¥65,000+税　（字幕版も収録）
■ＤＶＤ［ カラー・17分 ］
■2014年

●お問い合せ、お買い上げは……

㈱オプチカル　販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101